



本國一送りタル書簡ヲ悉ク板行シテ頒布セシニ付キ其  
 ノ書簡中ノ夏種々評論シタリ第一ニ皇帝ノ江戸  
 行幸ノ夏次キニ大名版籍奉還ノ夏次キ江戸ニテ公議  
 所ヲ開キシ夏次 美国王子、日本ニ参リタル時段々丁  
 寧ニ接待アリシ夏次キニ日本蒸気車ト電信機ヲ興  
 造スル意ヲ書載セシヲ左ノ如ク評論シタリ  
 英公使バークスハ必ズ善キ都合ヲ觀テ日本政府蒸気  
 車并ニ電信機ヲ興造<sup>セバ</sup>宜シカルコトヲ論ヲ談判



支那ノ新聞中  
 七日日本新聞ト云フ款下ニ公使バークスヨリ

114  
 A2473

大正十一年四月  
 大隈侯爵郵寄贈



シタル者ト見ヘタリ日本政府ニテモ速カニ其ノ便利ナル  
夏ヲ識破セシナレバ但、金ノ無キ故ニ差向ヘアリタリ  
然ル処幸ヒレト云フ人恰モ好ク未到シテ日本政府  
府ハ金ヲ借ス夏ヲ約セリ公使ノ唇筒ニテハ此ノ夏ヲ左  
ノ如キ奇怪ナル文章ニ言ヘリ日本政府、於テ蒸気  
車ヲ興造スル差向ト云フハ金子ノ無キ処ニアリシナリ  
然ル処レト云フ人渡来ノ此度興造スル蒸気車、及  
ヒ其ノ税銀トヲ引當ニシメ百一カポンドステリングヲ借シ  
ト云フ夏ヲ言ヒ出セリ日本政府、於テハ即チ之ヲ取極  
メテ而シメレト云フ其ノ金高ヲ取り集メシメ本國ノ

リタリ 以上公使書簡  
中ノ文

此ノ文章ニテハ「レ」ノ未タ其ノ金高  
ヲ取集メガル前ニ日本政府ハ金ヲ借サント云フ約ヲ為シ  
タルハ甚タ奇怪ノ事ナリ然ルニ金ヲ借貸スル上ノ些々不  
都合ハ假令ヒ之レアルニモセヨ蓋シ汽車ヲ興造スル夏ヲ評  
決シタルハ是レ甚タ感賞ス可キ者ナリ即チ電信機ノ如  
キハ已ニ成就セル由ニテ逐々他ノ処ヘモ電信機ヲ通スルト  
云フ試聞アリ此ノ一條ノ如キハ日本ノ如キ勢威ノアリテ  
且ツ人民ノ便利ヲ辨認スル國ニテハ必定盛昌ニ行ナハル  
可シ別ニヤ之ヲ始メントセシ時此ノ事ヲ日本ノバルメン  
トヨリ十分爭論シメ初メハ異論ノ者之レアリシカレ

其ノ異論ノ徒モ之ヲ悟リテ而ノ興造スルノ意決セシ者  
故殊ニ都合宜シク成就スルナル可シ公使書簡ノ添紙  
ニハ日本政府ノ官員蒸気車ノ事ニ就キテ論議セルノ翻  
訳ヲ添ヘタリ其ノ中ニ奇絶可喜ノ論アリ恰モ支那  
政府ニテ従前蒸気車ヲ興造スル意ヲ推シズル論ヲ一  
翻シタル論ナリ支那ノ論ハ國中ニ蒸気車ヲ興ハセハ國中  
ノ水手其他種々ノ徒皆ナ其業ヲ失シ遂ニ種々ノ因難  
ヲ生シ一揆ヲ起ス等ノ禍ヲ起スト云ヘリ日本人ノ議論  
中ニ書載シタルニハ若シ蒸気車ヲ興造スレハ老幼婦女  
等モ容易ニ旅行スルヲ得可シ且ツ交易カシ盛昌ニ進メル

カ故ニ籠屋宿屋船頭等モ逐々其ノ盛昌スルニ由テ却テ  
其便利ヲ獲テ安樂ニ生活スルヲ得可シト云ヘリ  
日本ニテ蒸気車ヲ興造スル意ヲ評論スルハ先ツ之レニテ  
止ム可シ尙オ其ノ精詳ナル意ヲ知ラント欲セハ日本在留  
公使ノ唇簡ノ枚行セシ者ニ就テ之ヲ知悉ス可シ然ルニ  
英國王子ヲ日本ニ於テ接待セシ意ニ付キテハ茲ニ之ヲ一言  
セカシヲ得サル意アリ其ノ接待ノ懇厚ナル日本君主并  
ニ其士官ノ特譽タル所以ナリ而シテ英王子并ニ英ノ人  
民ニ於テモ其ニ満足ノ至ナル所以ナリ此度ノ事ヲ以テ  
其ノ他種々ノ事ニ合セテ之ヲ考フルニ我英國ト懇親ノ交

以上書簡  
中ノ添紙

リヲ厚クセン為メノ旨意ヨリメ出タル者ナリ此ノ旨意ハ我國ニ於テモ感賞シメ可貴者ナリ

普郎西新聞

「エルベルデルサイツン」地新聞

此ノ新聞ハ半分、新聞、即ハチ政府ヨリノ之ヲ許メ人民ニテ之ヲ為ス者ナリ

此ノ新聞ニ云フ我政府ニテ此節尤モ欲シメ為サントスル者ハ西細亞ニ於テ北日耳曼ノ為メニ開拓ノ土地ヲ獲ント欲スル事ナリ「アラツカ」ノヤボールレイノ君ニ談判ノ「カランム子イ」嶋ヲ買入レル事ハ後前ヨリ東亞細亞ニ在リ近邊ナリ此ノ嶋ヲ買入レル事ハ後前ヨリ東亞細亞ニ在留セル海軍ヲ置ク事ニ大イニ関係セリ日本（千八百五十九年ヨリ千八百六十二年迄）向唯一艘ノ軍艦ヲ遣シ

アリモナリシユエス海峽ノ壩割成就セシニ付テハルタ  
ト云フ軍艦ヲ一艘助カノ為メ日本ニ遣シタリ而メ去年  
ニ至リテ今一艘ヨルベツトト云フ軍艦ヲ遣ハサント我カ  
政府ノ於テ之ヲ思惟セリ如此逐々船艦ヲ遣ハスニ就テハ  
兵糧并ニ戦争ノ器械ヲ積置スル土地ナカル可ラサルノ  
故ニ此ノカラム子ノ嶋ヲ買フニ其ノ為メニ之ヲ用ユル  
ノ積リナリ

